

# 第25回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成25年1月

応募者名:松山市

事業の名称:都市計画道路『北久米和泉線(2工区)』

実施都市名:松山市

## 事業目的

「そこに住んでみたい」と感じる、快適で豊かな都市空間を創出します。

本事業では、宅地化が進んでいる市内南部地区の良好な市街地形成を図り、歩行者・自転車交通の安全性・快適性の向上を図るものです。

また、本事業は市内中心部への自動車交通の分散化という目的もあり、天山交差点等の渋滞緩和にも寄与しています。

## 事業概要

事業名称:都市計画道路『北久米和泉線(2工区)』

路線名:北久米和泉線(2工区)

事業箇所:松山市

事業延長:L=435m

幅員:W=6.5(16.0)m

事業費:約30億円

事業実施期間:平成16年度～平成23年度

本事業は、松山市南部地区の都市再生整備計画の一環として、市道千舟町古川線から県道松山伊予線に至る区間を整備したものです。安全で安心な道路空間の形成を図るため、自転車歩行者道やポケットパークを配置しています。

さらにポケットパークには町内会の手により、地元の偉人である今村久兵衛氏の顕彰碑が建てられ、『きゅうべえ通り』という愛称で親しまれています。また開通式には町内会に「きゅうべえ音頭」「きゅうべえ踊り」を創作・披露して頂きました。

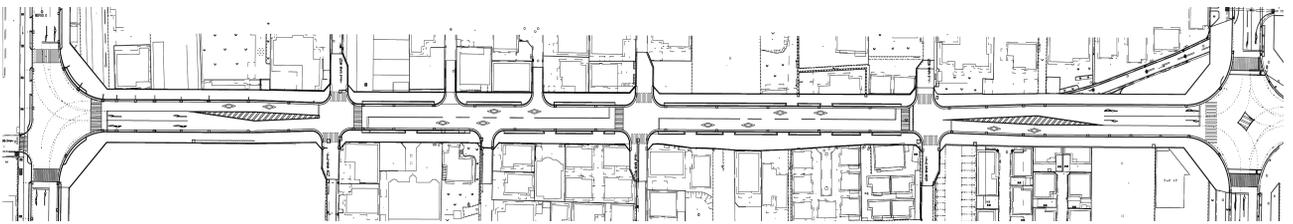
# 事業位置図



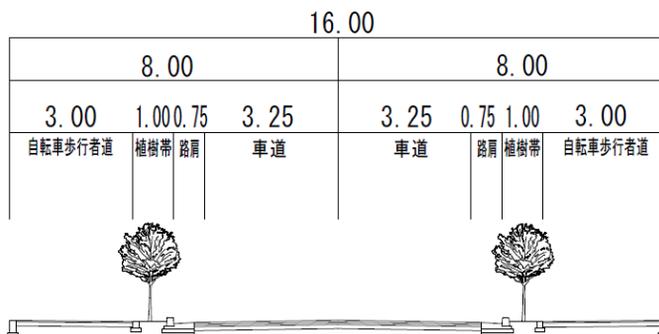
## 全体図(平面図・側面図・横断面図)

平面図

延長 L=435m



横断面図



# 北久米和泉線(2工区)の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名:都市計画道路『北久米和泉線(2工区)』

路線名:北久米和泉線

事業箇所:松山市

事業延長:435m

幅員:6.5(16.0)m

総事業費:約30億円

事業期間:平成16年度～平成23年度

南部児童センター 保健センター南部分室



## 「整備効果」

・市内南部地区内の安心歩行エリアにおける事故件数が46%減少し、安全・安心なまちづくりの実現に寄与した。

(平成15年)136件/km2・年 → (平成23年度)73件/km2・年

・地区内の幹線道路歩道整備率が28%向上し、安全で安心な道路空間を創出した。

(平成15年)47% → (平成23年度)75%



通学状況



## 「その他の事業効果」

・同時期に地区内に整備した複合保健福祉施設(南部児童センター)へのアクセスとして利用され、1日の来場者数は357名に達し、世代間交流・豊かな人間性育成に寄与した。

・地区内における幼児検診の受診割合が80%から90%に向上し、子供の健やかな発達促進に寄与した。

・これまで抜け道利用されていた周辺の生活道路で、交通事故件数が減少している。

・同時期に開通した道路と合わせて、市内中心部への自動車交通が分散化され、県内最大の渋滞地点である天山交差点等の渋滞緩和にも寄与しています。

# 事業前写真

平成22年6月撮影



平成22年6月撮影



平成22年2月撮影



# 事業後写真

平成24年12月撮影



平成24年3月撮影



平成24年3月撮影(完成式典の様子)



# 北久米和泉線(2工区)の整備効果アピール資料

## ○事業概要

事業名:都市計画道路『北久米和泉線(2工区)』

路線名:北久米和泉線

事業箇所:松山市

事業延長:435m

幅員:6.5(16.0)m

総事業費:約30億円

事業期間:平成16年度～平成23年度

## ○区内発生事故件数調査結果

供用前 平成23年4～9月実測

供用後 平成24年4～9月実測

・事故件数の推移

96件 → 82件

(15%減少)



## 「整備効果」

### ○区内の事故減少

136件/km<sup>2</sup>・年(H15) → 73件/km<sup>2</sup>・年(H23)

### ○歩行者にやさしい道路整備の促進

地区内幹線道路の歩道整備率

47%(H15) → 75%(H23)

### ○「その他の事業効果」

- ・自動車交通の分散化
- ・複合保健福祉施設の利用促進
- ・母子育児支援の促進